

# 緑園西小学校 中期学校運営計画

## 計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

## 学校教育目標

- 健康でたくましい子を育てます
- 進んで学ぶ子を育てます
- 思いやりのある心豊かな子を育てます
- 自然を愛し社会につくす子を育てます

## 学校経営方針

### 思いやりと信頼に満ちた学校づくりを目指します

- 全職員の経営参加の自覚と相互の信頼を基盤に教育活動を推進し、目標の達成に努めます。
- 教育を取り巻く状況や課題、子どもや地域の実態を広い視野からとらえ、児童の能力や個性が発揮されるよう、長期的展望に立って、教育活動を推進します。
- 積極的な研究や研修に努め、教育専門職としての指導力を高めるとともに、児童一人ひとりの学習力の育成、自己実現の支援に努めます。

## 指導の重点

- 誰もが安心して豊かに過ごせる学校づくりを推進するために、思いやりをもった人間関係の構築を図ります。
- 基礎基本の確実な定着を図り、個に寄り添い、個に合った支援を工夫し、個性を生かす教育を充実します。
- 学習指導要領のねらいに即して、「目標に準拠した評価」を重視し、子どもの可能性を引き出します。
- ノーチャイム制を推進し、自ら気づき自らの意思で行動する、自分を律することのできる子を育成します。

## 改善の視点

子どもの学力に関する議論がある中で、教科等の指導の充実を図っていく必要があります。

## 取組目標

- ・ 算数少人数指導を3～6年生で実施します。個に合った支援を充実させるために習熟度別指導を効果的に取り入れます。
- ・ 平成19年度に特別支援教育指導体制を導入し、特別な支援を要する子への支援体制を整えます。
- ・ 「ねらい」を明確にさせた授業、1週間1か月のPDCAの取り組みを週計画案に生かすようにします。
- ・ 子どもがめあてをもち、伸びをとらえられるように、子どもの見取り、保護者への伝達の仕方を工夫します。
- ・ 図書ホールを学習資料センターとして整備し、情報活用能力、問題解決力、読書力の向上に努めます。

規範意識等の欠如が問題となっており、豊かな心を育む取組が必要となっています。

- ・ 生命を尊重する態度、あいさつ、言葉遣いなどの基本的な生活習慣を身につけさせるために、道徳、学級活動、児童指導、人権教育を充実させます。
- ・ 年間を通した縦割り活動で、思いやりの心を育みます。
- ・ 週1回の朝読書と週1回の読書ボランティアによる読み聞かせ会を実施し本に親しむ習慣をつけます。
- ・ 生活目標の定着を図るために、朝会で取組やふりかえりを発表し、意識を共有化します。

市全体として子どもの体力向上が課題となっています。家庭や地域と連携しながら体力向上を図っていく必要があります。

- ・ 中休みに30分のフレンドリータイムを設け、積極的に体を動かす遊びを奨励します。
- ・ 地域の運動会、「青少年居場所づくり」の行事、社協ふれあい祭りに積極的に参加させ運動体験を進めます。また地域スポーツ支援事業も取り入れ、外遊びの体験を広めます。
- ・ 体育の授業ではすべての児童に運動量を保証し、体力向上に努めます。

子どもの安全を脅かす事件が後を絶ちません。安全・安心な学校づくりが必要となってきます。

- ・ 登校時、職員門当番を立て安全を図ります。
- ・ 1年生単独で下校する日は、職員が方面別に下校指導します。
- ・ 登校前校舎内外の安全点検をして子どもを迎え入れます。また防犯上危険箇所には赤色灯をつけるなど、死角をなくします。
- ・ 不審者進入対応訓練、職員研修を年間計画に位置づけます。
- ・ PTAと地域による、学援隊、緑園交通安全パトロール、「子ども110番の家」の普及を進めます。

人材育成の考え方

- ・ 若手教員の育成を図るために、学年主任を直接のリーダーとして学年研究会を充実し、学級経営、児童理解の仕方、日々の業務のあり方を指導助言していきます。
- ・ 主幹教諭は学校運営のリーダーとして教職員の連携と協力指導体制を構築し、学校の教育実践の充実を図るとともに、若手教職員の育成に努めます。
- ・ 児童指導、人権教育、特別支援教育、英語活動の校内研修を充実させ、教育の専門職としての力量を高めます。
- ・ 区・市研究会、市教委の研修会に積極的に参加し、研究、研修に励みます。
- ・ 服務、個人情報保護、著作権等に関する研修を充実させ、教育公務員としての資質を高めます。

平成19年度の重点取組項目

- ・ 特別支援コーディネーターを中心として、特別支援教育体制を整えます。
- ・ 授業の「ねらい」を明確にし、PDCAの取り組みを週計画案に生かすようにします。
- ・ 土曜参観、学校を開く週間での学校評価を元に、改善を進め、保護者、地域にも分かりやすく公表します。
- ・ 地域行事に学校を開放したり、地域行事への参加を促したりして、地域と子どもたちがふれあうことのできる場面を増やします。

これまでの取組結果

- ・ 横浜市新体力テストを実施し、体力の実態を把握できました。
- ・ 英語活動の授業研究会を公開し、保護者の理解を得ました。
- ・ あいさつに関しては意識の向上が見られますが、継続指導が必要です。

教育懇話会の意見

- ・ 地域との関係をよりよくするために「匠」を学校へ呼んで協力できるテーマを見つけたい。
- ・ 安全パトロールのときに子どもたちにあいさつしてもらえると心が安らぐ。あいさつできる関係を増やしたい

※1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。 ※2 ◎は重点項目